

# 晃の園だより

<http://www.surugakai.net/hikari/>

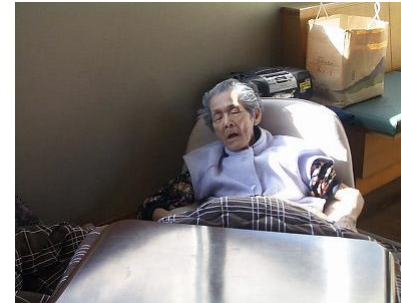


新しい年を迎えてひと月が経ちました。真新しく今年のカレンダーも、壁に馴染む間もなく一枚目とその役目を終え、二枚目にバトンを渡しています。暦の上ではもう立春です。とはいっても、まだまだ寒い日が続いています。それもそのはず、季節は『冬』。寒いのが当たり前の季節です。でも、快適・便利を手に入れた私たちの今の生活では、そんな当たり前の感覚も少しだけ薄れがちなのかもしれません。

今年は晃の園でも身近にある当たり前を少し見直してみようと思います。例えば『買い物』、そして『福祉用具』。今までの日常的な当たり前を今一度見直して、本来の当たり前を再認識する。そんなことをやってみようと思います。

## 普段の生活の中で

特別なイベントでない普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者様の笑顔こそがとても大事なものに思えます。



先日こたつが登場したユニットのご近所ユニットで、新たに職員さんのご好意によりこたつが登場しました。床に座る安心感。頭寒足熱の快適さ。『冬はやっぱり炬燵だね』そんな言葉が聞こえてきそうな、こたつのある風景でした。



入居者様がご自分の郷土料理の『かけ』を作ってくださいました。こねて、伸ばして、切って…。でも蕎麦の様に細長くではなく、何と三角形に切ります。後はだし汁で茹で、ニンニク味噌につけて美味しくいただきました。皆さんは『かけ』ご存知でしたか？



入居者様のご要望にお応えしてのホットケーキ作りです。入居者様と職員の共同作業で調理が進みます。食いたい物を『作る楽しみ』そして『食べる楽しみ』。食堂に楽しそうな声が響きます。今度は何を作りましょうか？

## 晃の園ではリフトなどの福祉用具の導入準備を進めています

晃の園ではリフトなどの福祉用具の導入にあたり、専門のコンサルタントを立てることを決定しました。早速、東京に本拠地を置く福祉技術研究所に連絡を取った結果、2月9日（水）に代表である市川湧さんが来園し現状を確認してくれました。市川さんは福祉用具の導入で成功したとされる施設でコンサルタントとして携わった実績があり、福祉用具関連の研修事業でも講師を務めている方です。

福祉用具の導入は、影響する範囲やコスト面も含め巨大なプロジェクトとなります。このプロジェクトを確実に、そして有効に推し進める為にも確かな助言者の存在は必要不可欠です。まずは今回の確認結果の報告を待ち、今後の基本方針を固めていきたいと思えます。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。



お問い合わせは  
☎ 054-270-1210  
FAX 054-270-1253



インターネット ホームページ  
ホームページ <http://www.surugakai.net/hikari/>  
Eメール [hikarinosono@surugakai.net](mailto:hikarinosono@surugakai.net)



# お正月の風景あれこれ

＝今年もよろしくお願いします＝



## おせち料理に舌鼓

正月に欠かせないのがおせち料理。調理員が手間暇かけて盛り付けたお重は見た目も楽しく雰囲気満点。蓋を開けて思わず手を併せる入居者様もいらっしゃいました。

こだわりのおせち料理が新しい年の始まりを素敵に演出していました。



## 獅子舞が園内を練り歩く

今年の晃の園の正月には何と獅子舞が登場。元旦にご家族様と友人様による獅子舞が園内全体を練り歩きました。入居者様からは『嬉しいねえ』『縁起がいいよ』などの声が多数聞かれとても好評でした。



## もらって嬉しい年賀状

日頃付き合いのある人からでも、貰って嬉しいのが年賀状です。改まった挨拶が少しくすぐたくもあり、でも何故かしら心がじんわり温まるから不思議ですね。中にはご家族から写真付きの年賀状を貰い、そこに写るひ孫さんのかわいらしい姿を何時までも眺めている入居者様の姿も見られました。



## つきたてが嬉し美味しの餅つき

『ぺったん！ぺったん！』杵で餅をつく音が響きます。『ぺた！ぼたん！』中には多少不慣れなつき手もいて、返し手も多少おっかなびっくり。

でも出来たお餅はふっくら柔らか。皆さんにも手伝っていただき、美味しく楽しく頂きました。



## 改まって記念写真

普段なら少し恥ずかしく感じる集合写真も、お正月なら話は別です。気持ちも新たに皆さん新年の顔で、はいチーズ！



# 年末年始に二つの音色のコンサート



年末と年始に、それぞれの時期にあわせた音色で二つのコンサートがそれぞれ開催されました。

年末のクリスマスには職員とその友人たちによるクラシックギターの演奏会が、そして年始には音楽療法の先生たちによる琴の演奏会がそれぞれ開催されました。いずれも普段はあまり耳にしない音色ということもあり、皆さん大いにその演奏を楽しんでいらっしゃいました。



# 気ままに外出してみよう

まだ試行段階ですが、定期的に事務所で運転手と車を用意し、入居者様が気軽に外出できる機会を増やす、という企画を始めました。

これまではもろもろの事情で、外出などのイベントには予定書を作成しなければなりません。当然イベントには計画は必要です。事前準備も当日のトラブルを避けるためにも大切です。しかし、普段の生活に「予定書」なんてものはないですよね。「思い立ったが吉日」という言葉もあれば、「買いたい時が買い時」なんて言葉もあります。



## あたりまえをあたりまえに

全てがすべて自由にどうぞというのも、運営上の絶対的な限界があります。でも外出や買い物が少しでも「生活の中のあたりまえのこと」になればと考えます。また今後のユニット単位でのイベントも、どしどし企画・実行していきます。まだまだ試行錯誤の中なので、今後どのように体制が整えられるかはわかりませんが、入居者様の生活のちょっとした変化につなげられればと思います。

外出に限らず、現在我々があたりまえに感じてしまっている様々な制約を今一度見直し、必要であれば新たな行動を模索していく。そんな視点や姿勢を持ち続けていきたいと思っています。

# 22年度の広報写真大賞が決定



一年間の広報活動の集大成となる広報大賞が決定しました。だれでも参加できる投票形式の採用も好評だったようで、ささやかながら楽しみの提供も出来たようです。



広報活動は介護の仕事と決して無関係ではありません。写真の撮影や文章の作成は、職員の気付きの場として活用することが出来ます。多くの職員の広報活動を通して、介護という仕事の裾野が少しでも広がってくれればと切に願います。